

学校法人多摩美術大学の2004年度(平成16年度)の事業報告をとりまとめましたのでご報告申し上げます。

1.事業の概況

大学を取り巻く環境は、少子高齢化がますます進み、入学定員と志願者数がほぼ同数になる「全入時代」の到来も2007年に前倒しされるなど、一層厳しいものとなっています。

こうした大学淘汰の時代にあって、既存の国、公、私立大学や構造改革特区における新規参入組の株式会社立大学が入り乱れて、生き残りを賭けた激しい競争が始まっています。

2005年4月からは学校教育法や私立学校法の一部が改正され、国の認証を受けた第三者機関「認証評価機関」による継続的な評価体制が義務付けられ、自己点検・自己評価に基づく大学改革に向けた不断の努力が求められ、教育の質の保証に対する認証機関の評価結果も公表されました。

また、学校法人の財務に関する情報公開も広く求められるなど、私学を取巻く環境は大きく変化しています。

このような状況のもと本学は、建学の理念に基づき、自己点検・評価の実施をはじめ、教学や管理運営面で前期に引続き様々な改革に取り組んでまいりました。以下に2004年度におけるその主な内容をご報告いたします。

◎教学改革の推進

本学は1999年に第1回目の自己点検・評価報告書「多摩美術大学1997-98-99」の刊行以来、第2回目となる「自己点検・評価 多摩美術大学2000-2003」を全学挙げて取組み刊行しました。

各部門における主な報告は以下の通りです。

- 教務部 …… 工芸学科で自己推薦入試を実施。自己点検・評価の実施、国際交流コーナーの設置。Web履修システムの開発に着手。
- 学生課 …… 奨学金等の拡充、路線バス化への対応、中越地震の被災者対策実施。
- 就職課 …… 進路・就職相談、OB交流会、就職説明会の実施、企業訪問・求人先の開拓。
- 造形表現学部事務部 …… 映像演劇学科で自己推薦入試を実施。奨学金等の拡充。
- 図書館 …… 図書館システムのバージョンアップ、利用者サービスの充実。
- 美術館 …… 年間7本の企画展。「四批評の交差」、「南アフリカ現代写真」、「深澤幸雄」展など。総入館者数:5,865人(学生:927人)。博物館実習:61日間で実習生81名。
- メディアC …… 産学共同のサポート、コンピュータスタジオのコンピュータ87台の入れ替え及びシステム設計、写真のワークショップの充実、利用時間延長への対応等。
- 生涯学習C …… 新総合プロデューサーによる方針策定。年間124講座、受講生数3,862名。

◎管理運営面の推進

当期に行った主な事業は以下の通りです。

●自己点検・評価

・自己点検・評価に全学で取組み、「多摩美術大学2000～2003」を刊行。なお、本学は平成19年1月に評価認証機関の「大学基準協会」による第三者評価を受ける予定。

●奨学金の拡充

・多摩美術大学奨学金の拡充(20万円を27名 → 40万円を100名に大幅拡充)。

●校舎等建設関係

・平成16年2月完成のレクチャーホールにつづき、11月に八王子キャンパス新本部棟(総工費約1,533,000千円)完成。八王子キャンパス竣工披露記念式典を挙げる。

・平成16年10月に八王子キャンパス正門周辺(含バス停)工事が完成。開通式を実施。(総工費約781,200千円)

●改修工事関係

・平成16年9月八王子キャンパス・デザイン棟3Fグラフィックデザインにアニメーションをはじめとする映像制作スタジオ(コンピュータールームB)AVAの設置工事完成。

・平成16年9月に八王子キャンパス共通教育センター(旧本館棟)1・2階部分の改修工事。主に共通教育の個人研究室の充実整備、共同研究室・学生ラウンジなどの整備。(総工費約200,500千円)

・平成16年9月に八王子キャンパス図書館の外壁補修工事。(総工費43,050千円)

●人事研修関係

・平成18年度後期での目標管理制度等の導入を念頭においた、管理職・中間職・一般職の階層別研修の実施。

●その他

・橋本駅北口及び八王子駅南口からのスクールバスの路線バス化。

・7月より昼休み時間中の事務窓口対応実施及び職員の名札の着用開始。

平成16年度予算の執行状況

当期の予算執行状況について、概要を報告します。なお、金額は千円未満を四捨五入して表示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告します。

資金収支計算総括表

(収入の部)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	7,720,700	7,809,621	△88,921
手数料収入	299,400	296,679	2,721
寄付金収入	0	10,944	△10,944
補助金収入	506,200	489,434	16,766
資産運用収入	53,100	71,298	△18,198
資産売却収入	2,000,000	3,801,240	△1,801,240
事業収入	64,500	71,440	△6,940
雑収入	93,500	118,373	△24,873
前受金収入	2,502,100	3,232,713	△730,613
その他の収入	1,748,959	1,758,898	△9,939
資金収入調整勘定	△3,236,130	△3,258,650	22,520
当年度資金収入合計(A)	11,752,329	14,401,990	△2,649,661
前年度繰越支払資金	8,787,246	8,787,246	0
収入の部合計	20,539,575	23,189,236	△2,649,661

授業料を美術学部△12千円、造形表現学部△8千円引き下げましたが、予算を上回りました。

入学志願者数が見込みを下回ったことにより予算を下回りました。

スイスヘルツァ財団から美術館で実施されたRPRO-セ展に対する助成金、およびカシマヤ文化基金からの東京国際ミニプリント・トリエンナーレに対する助成金などです。

私立大学経常費補助金の一般補助金(補助対象専任教員数の減少)および特別補助金(外国人留学生の受入)の減少により予算を下回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,607,500	3,519,590	87,910
教育研究経費支出	1,349,300	1,398,820	△49,520
管理経費支出	355,400	334,256	21,144
借入金等利息支出	147,100	151,573	△4,473
借入金等返済支出	470,390	470,890	△500
施設関係支出	1,984,600	2,028,269	△43,669
設備関係支出	442,000	534,450	△92,450
資産運用支出	5,500,000	5,919,918	△419,918
その他の支出	142,303	174,669	△32,366
予備費	700,000	—	700,000
資金支出調整勘定	△162,964	△211,784	48,820
当年度資金支出合計(B)	14,535,629	14,320,651	214,978
次年度繰越支払資金	6,003,946	8,868,585	△2,864,639
支出の部合計	20,539,575	23,189,236	△2,649,661

竣工や改修された建物(八王子キャンパス本部棟、共通教育センター1F・2F)へのAV設備や機材のほか、コンピュータ設備の更新にかかる支出により予算を上回りました。

多摩美術大学奨学金の原資の一部である受取利息を増加させるため、長期定期預金預入を実施しました。

当年度資金収支差額(A)-(B)	△2,783,300	81,339	△2,864,639
------------------	------------	--------	------------

(2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告します。

消費収支計算総括表

(消費収入の部)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	7,720,700	7,809,621	△88,921
手数料	299,400	296,679	2,721
寄付金	0	172,085	△172,085
補助金	506,200	489,434	16,766
資産運用	53,100	71,298	△18,198
資産売却差額	0	32,158	△32,158
事業収入	64,500	71,440	△6,940
雑収入	93,500	118,373	△24,873
帰属収入	8,737,400	9,061,088	△323,688
基本金組入額合計	△2,833,190	△2,719,803	△113,387
消費収入の部合計	5,904,210	6,341,285	△437,075

スィスヘルツ財団、妙シマヤ文化基金からの寄付金の他、加山又造作品1,788点や科学研究費補助金からの現物寄付(評価額)などによるものです。

山梨県忍野村に所有していた土地の売却差額と有価証券の満期償還・売却差額です。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	3,778,500	3,527,093	251,407
教育研究経費	2,578,900	2,648,709	△69,809
(うち減価償却額)	1,229,600	1,249,890	△20,290
管理経費	422,300	416,621	5,679
(うち減価償却額)	66,900	82,365	△15,465
借入金等利息	147,100	151,573	△4,473
資産処分差額	28,400	161,457	△133,057
予備費	700,000	—	700,000
消費支出の部合計	7,655,200	6,905,453	749,747

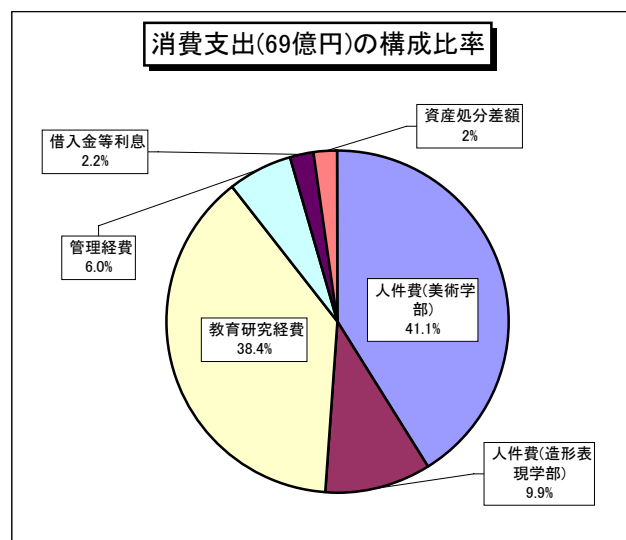
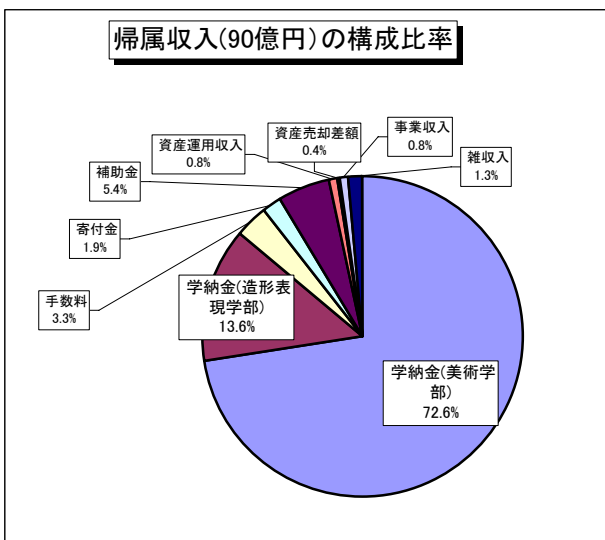
共通教育センター1F・2Fの改修などによる建物処分差額のほか、コンピュータ設備の更新などにかかる機器備品処分差額により予算額を上回りました。

上記の結果、帰属収支差額は1,073百万円予算を上回り、帰属収支比率は23.8%になりました。これは次年度以降も継続される施設整備計画の資金として充当されます。当年度の消費収支差額は△564百万円と昨年度、一昨年度に続き3か年連続の支出超過となり、その繰越消費支出超過額は△2,066百万円になりました。中長期的には消費支出超過を解消し消費収支の均衡が図られる運営をめざします。

帰属収支差額	1,082,200	2,155,635	△1,073,435
帰属収支差額比率	12.4%	23.8%	—
当年度消費支出超過額	△1,750,990	△564,168	—
前年度消費支出超過額	△1,502,378	△1,502,378	—
翌年度繰越消費支出超過額	△3,253,368	△2,066,546	—

注1 帰属収支差額=帰属収入-消費支出

注2 帰属収支差額比率=帰属収支差額÷帰属収入×100



(3) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減を報告します。

貸借対照表

科目		H16年度末	H15年度末	増減
資産	固定資産	47,554,848	42,753,426	4,801,422
	有形固定資産	38,124,640	36,902,022	1,222,618
	その他の固定資産	9,430,208	5,851,404	3,578,804
	流動資産	9,384,007	12,329,549	△2,945,542
合計		56,938,855	55,082,975	1,855,880

八王子キャンパス本部棟の竣工、正門周辺整備工事の完了、共通教育センター1F・2F改修、および機器備品・図書の購入や山又造作品の寄贈などにより有形固定資産は増加しました。

国債を中心とする長期有価証券の購入や長期定期預金による運用、および将来見込まれる建物などの更新や補修ために減価償却引当預金への振替などによりその他の固定資産は増加しました。

短期有価証券運用から長期有価証券運用への変更などにより流動資産は減少しました。

借入金の返済などにより負債は減少しました。

八王子キャンパス本部棟や正門周辺整備工事などの固定資産の新規購入や過年度の固定資産購入にかかる借入金の返済額相当を基本金へ組入れました。

山梨県忍野村に所有していた土地売却代金を奨学基金へ組入れ基金の充実をしました。

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目		H16年度末	H15年度末	増減
負債	固定負債	6,917,950	7,505,837	△587,887
	流動負債	4,235,344	3,947,212	288,132
	計	11,153,294	11,453,049	△299,755
基本金	第1号基本金	45,683,198	42,984,571	2,698,627
	第2号基本金	1,500,000	1,500,000	0
	第3号基本金	233,910	212,734	21,176
	第4号基本金	435,000	435,000	0
	計	47,852,108	45,132,305	2,719,803
消費収支差額		△2,066,547	△1,502,379	△564,168
負債、基本金、消費収支差額の部合計		56,938,855	55,082,975	1,855,880

(参考)

正味資産額	45,785,561	43,629,926	2,155,635
※正味資産＝資産－負債			
減価償却額の累計額	9,118,662	8,092,860	1,025,802
基本金未組入額	1,562,378	2,015,642	△453,264

貸借対照表についてH14年度～H12年度を報告します。

(資産の部) (単位:千円)

科目		H14年度末	H13年度末	H12年度末
資産	固定資産	39,421,405	36,522,160	36,016,347
	有形固定資産	34,579,140	30,918,034	31,448,137
	その他の固定資産	4,842,265	5,604,126	4,568,210
	流動資産	13,616,632	12,792,956	11,293,380
合計		53,038,037	49,315,116	47,309,727

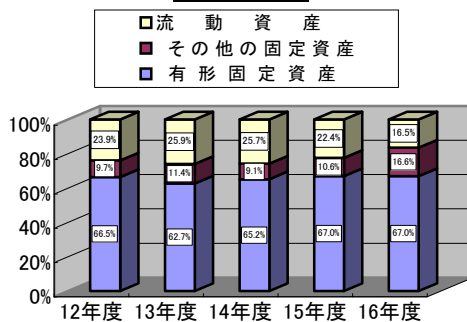
(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目		H14年度末	H13年度末	H12年度末
負債	固定負債	7,932,344	6,804,440	7,333,114
	流動負債	3,966,078	3,841,875	3,643,341
	計	11,898,422	10,646,315	10,976,455
基本金	第1号基本金	38,962,864	35,575,102	34,604,612
	第2号基本金	1,000,000	2,000,000	1,000,000
	第3号基本金	212,734	112,734	102,734
	第4号基本金	401,000	401,000	401,000
	計	40,576,598	38,088,836	36,108,346
消費収支差額		563,017	579,965	224,926
負債、基本金、消費収支差額の部合計		53,038,037	49,315,116	47,309,727

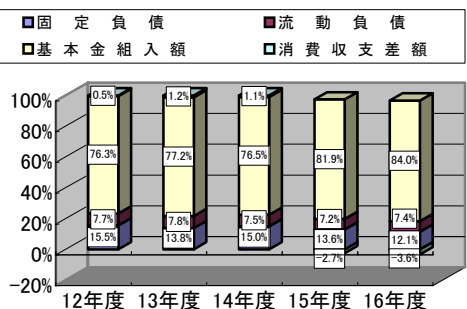
(参考)

正味資産額	41,139,615	38,668,801	36,333,272
※正味資産＝資産－負債			
減価償却額の累計額	7,028,168	6,135,118	5,148,105
基本金未組入額	2,649,576	1,480,491	1,993,903

資産構成比率



負債、基本金、収支差額構成比率



(4) 財務比率<平成10年度から平成16年度>

※芸術系平均値は、日本私立学校振興・共済事業団編【今日の私学財政】平成16年度版より抜粋しました。

項目	算式	評価	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	芸術系平均値
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	▼	41.9%	37.5%	41.1%	39.8%	39.6%	40.3%	38.9%	52.9%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生納付金}}$	▼	49.7%	47.9%	47.3%	46.3%	46.2%	46.9%	45.2%	65.1%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金利息}}{\text{帰属収入}}$	▼	2.8%	2.4%	2.5%	2.1%	1.9%	1.9%	1.7%	0.8%
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	▼	77.2%	66.6%	74.1%	73.6%	72.8%	72.6%	76.2%	89.3%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	▼	147.1%	97.4%	97.3%	94.8%	100.3%	145.3%	111.7%	102.2%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	72.4%	72.4%	75.5%	74.1%	74.3%	77.6%	83.5%	87.3%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	28.1%	24.9%	24.9%	21.6%	22.4%	20.8%	19.6%	13.8%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	△	7.3%	7.1%	6.2%	6.5%	6.2%	6.5%	5.4%	7.9%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	△	47.5%	31.6%	23.9%	22.4%	27.4%	50.0%	30.0%	12.6%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	92.6%	96.1%	94.8%	96.0%	93.9%	95.7%	96.8%	95.8%
教育研究費経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	△	27.3%	21.3%	26.6%	23.6%	26.7%	26.3%	29.2%	26.2%
学生納付金等比率	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{帰属収入}}$	△	84.3%	78.2%	86.9%	86.0%	85.8%	86.0%	86.2%	81.2%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	—	12.3%	14.8%	16.2%	15.7%	16.4%	17.6%	19.3%	12.5%

財務分析

- 人件費比率＝帰属収入に対する割合を示す重要な比率で本学は平均値を下回っている。
- 人件費依存率＝学生納付金に対する割合で一般的には低い方が望ましい。
- 借入金利息比率＝低い方が良い。本学は八王子キャンパス整備に要した借入金残高が大きく、平均値を上回っている。
- 消費支出比率＝人件費や管理経費、教育研究経費などで消費された比率で低いほど良く、自己資金は充実する。
- 消費収支比率＝消費支出の消費収入に対する割合で低い方が良いとされ、比率が100%を超えると支出超過(赤字)となる。
- 固定資産構成比率＝固定資産の総資産に占める割合で低い方が良い、比率が特に高い場合は流動性に欠けるとの評価。
- 総負債比率＝低い方が良い。総資産に対する他人資金の割合。50%を超えると負債総額が自己資金を上回る。
- 補助金比率＝学生納付金に次ぐ収入源であるが私立大学等経常費補助金(国庫補助金)は年々減少。
- 基本金組入比率＝高い方が良いとされる。資産の充実や将来計画により比率が増加。
- 基本金比率＝基本金組入対象資産である要組入額に対する組入済基本金の割合で高い方が良い。
- 教育研究経費比率＝教育研究活動にかかる費用で高い方が望ましく、本学は平均値を上回っている。
- 学生納付金等比率＝帰属収入の中で最もウエートが高く安定推移が良い。学費のみに依存せず他の収入増も検討。
- 減価償却額比率＝将来、資産の更新時に必要である。実質的には消費されずに留保される資金。

H16年度財務諸表比率【芸術系19法人比較】

芸術系19法人の平均値を10とした場合の本学の値。

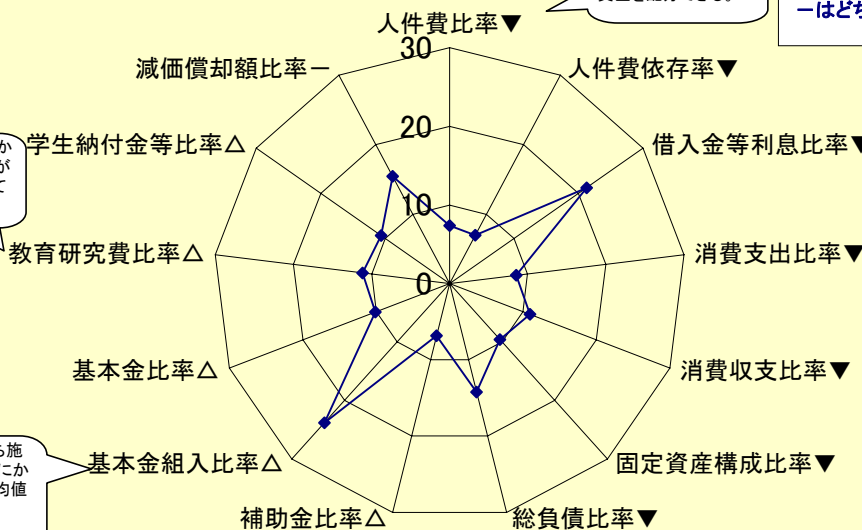
▼は値が下回った方が良いもの。
△は値が上回った方が良いもの。
—はどちらともいえないもの。

人件費の比率が平均値より低く教育研究に資金を配分できる。

八王子キャンパス整備に要した借入金残高が多く平均値の約2倍の金利負担になっている。

教育研究活動にかかる費用の割合が平均値を上回っている

帰属収入のうち施設設備の充実にかかる割合が平均値より2.4倍多い。



5.法人の概要

設置する学部学科の名称および入学定員と学生数

【大学・学部】

キャンパス	学部	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員	学生数
八王子	美術学部	絵画学科	日本画	171	723	(151)
			油画 版画			834 (540) (143)
		彫刻学科		30	120	128
		工芸学科	陶	60	240	(81)
			ガラス			259 (88)
			金属			(90)
		グラフィックデザイン学科		146	631	756
		生産デザイン学科	プロダクトデザイン	70	280	(143)
			テキスタイルデザイン			327 (184)
		環境デザイン学科		70	292	353
情報デザイン学科	情報芸術 情報デザイン	120	480	534		
芸術学科		55	226	300		
小計		722	2,992	3,491		
上野毛	造形表現学部	造形学科		40	160	190
		デザイン学科		100	400	480
		映像演劇学科		60	240	301
		小計		200	800	971
		合計		922	3,792	4,462

カッコ内は専攻の内数

【大学院】

キャンパス	研究科	専攻	研究領域	入学定員	収容定員	学生数
八王子 及び 上野毛	美術研究科 (博士前期課程)	絵画専攻	日本画	60	120	113
			油画 版画			
		彫刻専攻		12	24	24
		工芸専攻		10	20	25
		デザイン専攻	グラフィックデザイン プロダクトデザイン テキスタイルデザイン コミュニケーションデザイン	18	36	63
	芸術学専攻		7	14	10	
	小計		107	214	235	
(博士後期課程)	美術専攻		7	21	18	
		合計		114	235	253
		総計		1,036	4,027	4,715

平成16年5月1日現在

所在地

- 法人本部・造形表現学部・大学院
〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34
○美術学部・大学院
〒192-0394 東京都八王子市上鎌水2-1723
○美術館
〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1

役員・評議員・教職員の概要

【役員】

理事長	藤谷 宣人
理事(学長)	高橋 史郎
理事	市川 保道
理事	岩井 弘安
理事	東海林 隆
理事	清田 義英
理事	竹田 光幸
理事	峯村 敏明
理事	米倉 守
監事	須田 八郎
監事	森 三千郎

【評議員】

評議員	五十嵐 威暢
評議員	石田 晴久
評議員	市川 保道
評議員	岩倉 信弥
評議員	大津 英敏
評議員	鈴木 康之
評議員	清田 義英
評議員	高橋 史郎
評議員	田口 敦子
評議員	竹田 光幸
評議員	鶴見 雅夫
評議員	中島 祥文
評議員	中村 錦平
評議員	橋本 京子
評議員	藤谷 宣人
評議員	峯村 敏明
評議員	本江 邦夫
評議員	森下 清子
評議員	山中 玄三郎
評議員	米倉 守

【教職員の概要(専任)】

大学教員	170名
職員	151名

平成16年5月1日現在